

大阪大学大学院とアミン製造用の金属ナノ粒子触媒の開発及び  
量産化検討を目的として共同研究を開始

当社は、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた取り組みの一環として、次世代アミン製造触媒の開発に取り組んでいます。

当社は、カーボンニュートラルで注目されているCO<sub>2</sub>の吸収剤として欠かせないアミン化合物を製造しております。しかしながら、従来のアミンの製造は、高温・高圧といった過酷な条件で実施されることが多く、エネルギー面、安全面で大きな課題があります。

この課題を解決すべく、当社は、大阪大学大学院基礎工学研究科化学工学領域グリーン化学工学グループ 満留敬人准教授とアミン製造用の金属ナノ粒子触媒の開発並びに量産化検討に関して共同研究を開始いたしました。

本共同研究を通じ高活性・高選択性の触媒を開発することで、従来よりも低温・低圧条件での安全性の高いプロセス構築による水素使用量及びエネルギー使用量の削減を目標にグリーンでサステナブルなアミン製造技術への進化を目指して参ります。

